



## 2025年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月5日

上場会社名 株式会社 フェリシモ  
コード番号 3396 URL <https://www.felissimo.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢崎 和彦  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 (氏名) 宮本 孝一  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 078-325-5555

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	7,251	6.9	102		1		69	
2024年2月期第1四半期	7,793	2.1	15		31	88.2	13	

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 74百万円 ( %) 2024年2月期第1四半期 22百万円 ( 90.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	9.73	
2024年2月期第1四半期	1.83	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	29,181	18,761	64.3
2024年2月期	29,064	18,943	65.2

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 18,761百万円 2024年2月期 18,943百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		15.00	15.00
2025年2月期					
2025年2月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,976	0.5	79		124	252.9	109		15.31
通期	31,205	5.4	369		450		385		54.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	10,043,500 株	2024年2月期	10,043,500 株
期末自己株式数	2025年2月期1Q	2,920,914 株	2024年2月期	2,920,914 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	7,122,586 株	2024年2月期1Q	7,122,586 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年3月1日から2024年5月31日)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復が期待されました。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰や円安基調による輸入コストの上昇に伴う物価高の影響を受け、個人消費の持ち直しは足踏みがみられる状況となりました。

このような経営環境の中、当社グループは経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、長期的視点から「顧客基盤の拡大」「顧客との継続的な関係育成」「第2の収益の柱の育成」の3点に施策と経営資源を集中し、永続的・発展的な成長基盤の構築を実行していくことにより、業績を回復させ黒字化を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の概況といたしまして、中核事業である定期便事業におきましては、潜在顧客へのアプローチが不十分だったことによりECサイトへの流入数が減少し新規顧客獲得数が減少したことに加え、現時点では圧倒的差別力を有する商品開発がまだまだ不十分であったため、のべ顧客数が前年同期を下回り、売上高が減少いたしました。そのような中、良かった点としましては、「顧客基盤の拡大」の取組みとして、動画による新規顧客開拓に成功事例が出てきました。また、「顧客との継続的な関係育成」の取組みとして、継続型商品の投入を推進し、ファッション関連商品を中心に顧客1人あたり購入回数が回復傾向にあります。その他に、2024年5月に「フェリシモ ときめき文化祭」と称し、新作商品の展示発表会やセミナー、SNSで話題の雑貨商品のスペシャルカフェやワークショップ等のイベントを開催し、来場者からは高い満足度を得ることができ、顧客ロイヤリティを高めることに寄与いたしました。

新規事業分野におきましては、当社の定期便プラットフォームに取引先事業者が出品・出稿できる「FELISSIMO PARTNERS(フェリシモパートナーズ)」事業の防災関連商品等が好調であり、売上高が増加いたしました。また、2024年4月にリニューアルオープンいたしました神戸ポートタワー事業では、国内外より多数の観光客が来場し、来場者数が計画値を上回って推移するなど、「第2の収益の柱の育成」として、新たな収益源に位置づけられる事業に育ちつつあります。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,251百万円(前年同期比6.9%減)となり、売上総利益は3,833百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、定期便事業において送料単価が低い配送ルートの採用、梱包資材の改良等により物流関連費用は低減したものの、神戸ポートタワー事業において新たな業務委託料が発生したことに加え、次世代のWebシステム基盤整備の最適化や設備投資を行ったこと等により設備費が増加し、3,935百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

これらの結果、営業損失は102百万円(前年同期は営業損失15百万円)となりました。

営業外損益では、受取利息や為替差益などによる営業外収益を101百万円計上したことにより、経常損失は1百万円(前年同期は経常利益31百万円)となりました。税金等調整前四半期純損失は37百万円(前年同期は税金等調整前四半期純利益31百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は69百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失13百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ117百万円増加し、29,181百万円となりました。これは主に売掛金が419百万円増加したことに対し、現金及び預金が283百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ298百万円増加し、10,420百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が401百万円増加したことに対し、支払信託が260百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ181百万円減少し、18,761百万円となりました。これは主に利益剰余金の配当106百万円及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上69百万円により利益剰余金が176百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2024年4月5日に開示いたしました前回予想からの修正はありません。当第1四半期連結累計期間は、営業損失であります。現時点では当初の計画通り推移しております。今後の経営環境などの変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,063	8,779
売掛金	2,776	3,196
信託受益権	226	192
商品	4,318	4,325
貯蔵品	75	37
未収還付法人税等	32	65
その他	482	475
貸倒引当金	△36	△35
流動資産合計	16,939	17,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,419	4,558
土地	1,950	1,950
その他(純額)	433	384
有形固定資産合計	6,803	6,893
無形固定資産	1,865	1,820
投資その他の資産		
投資有価証券	2,225	2,184
長期預金	1,000	1,000
その他	230	246
投資その他の資産合計	3,456	3,431
固定資産合計	12,124	12,144
資産合計	29,064	29,181
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,025	1,427
電子記録債務	1,981	1,852
支払信託	1,658	1,397
未払金	1,359	1,199
未払法人税等	1	56
賞与引当金	151	302
その他の引当金	83	88
その他	716	958
流動負債合計	6,977	7,284
固定負債		
退職給付に係る負債	2,858	2,834
その他	285	300
固定負債合計	3,143	3,135
負債合計	10,121	10,420

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,841	4,842
利益剰余金	15,060	14,883
自己株式	△2,862	△2,862
株主資本合計	18,908	18,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	16
繰延ヘッジ損益	6	8
退職給付に係る調整累計額	4	4
その他の包括利益累計額合計	34	29
純資産合計	18,943	18,761
負債純資産合計	29,064	29,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	7,793	7,251
売上原価	3,675	3,418
売上総利益	4,118	3,833
販売費及び一般管理費	4,133	3,935
営業損失(△)	△15	△102
営業外収益		
受取利息	13	26
受取家賃	2	1
為替差益	21	65
受取補償金	1	0
その他	9	6
営業外収益合計	47	101
営業外費用		
持分法による投資損失	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益又は経常損失(△)	31	△1
特別損失		
投資有価証券評価損	—	31
関係会社株式評価損	—	4
特別損失合計	—	36
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	31	△37
法人税、住民税及び事業税	44	32
四半期純損失(△)	△13	△69
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	△69

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純損失(△)	△13	△69
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△6
繰延ヘッジ損益	23	1
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	35	△5
四半期包括利益	22	△74
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22	△74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。